

編集後記

今年は、例年に比べて梅雨明けが遅く、九州方面では梅雨末期の集中豪雨により大変な被害が発生しております。関東方面では、原子力発電所の発電停止により東京電力の電力不足が叫ばれる中、梅雨明けが遅く冷夏模様で電力不足解消に多少貢献しそうな状況です。

小泉首相は、構造改革なくして経済の再建なしと力説してきましたが、りそなグループへの公的資金投入、企業の決算報告、また米国の株高につられて、日本の株安が下げ止まり、一時1万円台の大台を回復しました。構造改革は、遅々として進んでおりませんが、規制緩和等により郵政民営化・道路関係4公団の民営化・公益法人及び国立大学等の独立行政法人化等が国会で審議・法案化が進められております。

日本経済はデフレスパイラルに陥っており、今年度の一般歳出予算は47兆5,900億円、その内公共投資関係予算は8兆9,100億円となっており、来年度はさらに3%削減と報じられております。建設業界にとって、益々パイが縮小し、低利益体質となり厳しい状況であります。

さて、今月号の巻頭言は、経済産業省産業機械課長補佐藤原達也氏から「我が国の製造業について」のテーマで執筆頂きました。原子力発電所建設工事関連の報文が3編、「大断面シールド機の回転施工」、「小径コアによるコンクリートの性能調査方法の現況」の5編の紹介となっております。

機関誌も日本建設機械化協会の顔が見えるようにと誌面の改革に取り組んでおります。まず2003年1月号から、文字のポイントアップによりB5判からA4判化とし見易さを図りました。次に、年間の掲載テーマを決めそれに沿った原稿収集を図り、またタイムリーに官側の情報発信をすべく努力を始めたところです。従来、表紙写真は建設機械メーカーからの提供により新機種紹介の写真が多かったのですが、9月号からは施工状況写真を掲載することになります。

取上げて欲しいテーマがございましたら当協会宛に多数ご意見をお寄せ下さい。

本誌がお手元に届く頃には、夏休みを充分満喫され仕事に意欲を燃やしていることと思います。

ご多忙の中、報文を執筆された方々に深くお礼を申し上げるとともに、読者諸兄のご健勝とご奮闘をお祈り申し上げます。(伊藤・境)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
両角 常美	渡邊 和夫

編集委員長

佐野 正道

編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
池田 哲郎	国土交通省
佐藤 隆	農林水産省
伊藤 早直	原子力安全保安院
本多 明	日本鉄道建設公団
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源開発公団
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
渡辺 博明	大林組
横山 満	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
有光 秀雄	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口喜久一郎	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
齊藤 徹	日本舗道
森 秀文	ハザマ
宮木 克己	日立建機

9月号予告 港湾小特集

- ・分級による浚渫土砂の画期的な有効活用一関門航路浚渫工事における土砂の分級一
- ・水中構造物撤去装置一第三海堡撤去への挑戦一竹田康雄・酒井浩・内海真
- ・バイラテラル操作系を用いた水中バックホウの遠隔操作技術の研究開発
- ・既設構造物直下への静的圧入締固め工法の適用
- ・改良型真空圧密工法の開発と施工事例一N & H 強制圧密工法一
- ・ダムコンクリート運搬用自昇式テルハクレーンの開発
- ・低車高深度クラム(PX 500)の開発と適用事例
- ・デュアルモードシールド掘進機の開発と実用化

No.642 「建設の機械化」

2003年8月号

〔定価〕1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成15年8月20日印刷

平成15年8月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380